大会名称: **平成28年度**
第70回千葉県中学校総合体育大会バスケットボール大会

開催場所: **船橋アリーナ　Bコート**

試合区分: **No. 138 女子　　2回戦**

期　　日: **2016(H28)年7月29日（金）**

開始時間: **10:20**

終了時間: **11:38**

市川七（市川・浦安）	○ 54	22 -1st- 9 6 -2nd- 13 12 -3rd- 6 14 -4th- 2 -OT1- -OT2- -OT3-	● 30	習志野四（習志野）

NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	a	19	0	8	3	4	4	*	a	3	0	1	1	1
5	*	b	12	0	6	0	2	5	*	b	8	0	4	0	1
6		c	0	0	0	0	1	6	*	c	7	0	3	1	1
7		d	0	0	0	0	0	7		d	0	0	0	0	2
8		e	2	0	0	2	0	8		e	−	−	−	−	−
9	*	f	8	0	4	0	4	9		f	−	−	−	−	−
10		g	0	0	0	0	0	10	*	g	4	0	2	0	0
11	*	h	6	0	3	0	1	11		h	−	−	−	−	−
12	*	i	2	0	1	0	1	12		i	−	−	−	−	−
13		j	0	0	0	0	0	13		j	−	−	−	−	−
14		k	5	0	2	1	0	14		k	−	−	−	−	−
15		l	−	−	−	−	−	15		l	−	−	−	−	−
16		m	−	−	−	−	−	16		m	−	−	−	−	−
17		n	−	−	−	−	−	17	*	n	8	1	2	1	4
18		o	0	0	0	0	1	18		o	−	−	−	−	−
コーチ		coach					0	コーチ		coach					0
		合計	54	0	24	6	14			合計	30	1	12	3	9

S: スターター　PTS: ポイント　3P: 3ポイントシュート　2P: 2ポイントシュート　FT: フリースロー　F: ファール

優れた走力とディフェンス力を武器として勝ち上がった市川七中と習志野四中の対戦。試合は両者ハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。第1Qは＃4高柳のシュート・アシストからオフェンスの起点を作り、得点を重ねた市川七中がペースを握る。対する習志野四中は、粘り強いディフェンスから速い切り返しでリズムを作るも、終盤でオールコートマンツーマンディフェンスに切り替えてプレッシャーをかけた市川七中の前に22－9で第1Qを終了。第2Qに入ると、両者の粘り強いディフェンスに拮抗した展開が続く。3分を経過したところで、市川七中＃4高柳のジャンプシュート、習志野四中＃5大平のドライブシュートをきっかけに試合が動き始める。習志野四中はタイムアウトを取ってオフェンスの確認をすると、＃5大平、＃17村松らのジャンプシュートで連続得点。28－22と点差を詰めて前半を終了した。後半に入っても、両者の粘り強いディフェンスとリバウンドの取り合いで拮抗した展開が続く。第3Q残り2分に、得点の起点となっていた市川七中＃4高柳が4つ目のファウルで交代すると、他のメンバーが奮起し、40－28と点差を広げて第3Qを終了。第4Qに入ると、市川七中は＃5松原を中心に厳しいディフェンスからの速攻、パスを展開してのシュートでさらに点差を広げる。点差を縮めたい習志野四中は3Pを狙うも苦しいシュートが続き、追加点を奪えず54－30で試合終了。市川七中は準々決勝に駒を進めた。敗れはしたが、習志野四中も最後まで諦めずにボールを追いかける姿は印象的だった。

千葉県小中学校体育連盟